

定例公安委員会開催状況

平成31年4月11日（木）

湖西警察署（新）庁舎整備概要について（総務部）

総務部長から、

湖西警察署新庁舎の概要については、

- 所在地
湖西市古見地内（現湖西警察署から約4.7km北西に位置する湖西市役所東隣）
- 庁舎等規模
敷地面積 約3,840㎡
本庁舎 鉄筋コンクリート造、4階建、面積約3,310㎡
附属棟 鉄骨造、1階建、面積約300㎡
- 本庁舎階層
1階 警務課、地域課、会計課、運転免許受付、相談室など
2階 留置施設、取調室など
3階 生活安全課、刑事課、交通課など
4階 警備課、講堂、道場など
エレベーター1基設置
- 施設の特徴
 - ・ 庁舎を国道・市道の両方に正面性を持つように計画し、来庁者が認識しやすい交差点側に一般車両駐車場を配置。附属棟と警察車両駐車エリアを庁舎裏面に配置
 - ・ 72時間対応の非常用発電機と受水槽の設置及び井戸の整備、車庫床下に災害用トイレ（4か所）を整備

である。

工期は平成31年10月末頃から平成33年1月末であり、移転時期は平成33年3月下旬を予定している。

旨の報告を受けた。

-
- ◇ 委員から、「警察署敷地への進入路について、交差点手前で右折進入する場合、交通渋滞が懸念されるが大丈夫か。」との質問があり、総務部長が「交差する道路それぞれから右折左折で進入可能であり、交通量は多くないことから大きな渋滞の発生はないものと思われる。」旨説明した。

春の連休期間中における山岳遭難の防止対策について（地域部）

地域部長から、

平成30年春の連休期間中における山岳遭難の発生状況（平成30年4月28日～5月6日）は、総数6件9人、山系別の内訳として、富士山2件2人、南アルプス1件1人、天城山系2件4人、その他1件2人である。

春山の特徴については、

- 好天であれば汗ばむほど暖かいが、荒れた天気では真冬並みに気温が下がる。
- 富士山や南アルプスでは、3月末頃からの気温上昇により雪崩の発生が懸念される。

また、この時期に発生する山岳遭難の特徴については、

- 天候に関する不適切な判断や不十分な装備により遭難が発生している。
- 里山では、新緑の芽吹きに伴う山菜採りの遭難が発生する。

遭難防止対策として、

- 山岳救助体制の確保
連休中、県警航空隊ヘリコプターの出動体制及び、山岳遭難救助体制を確保
- 啓発活動等
 - ・南アルプスにおける登山指導
山岳遭難救助隊員が、「南アルプス登山指導センター」（静岡市葵区田代地先）において、広報紙配布、登山者の装備品点検を実施
 - ・登山計画書提出者に対する事前指導
登山者から提出された登山計画書の内容確認及び危険な計画に対する改善指導
 - ・注意喚起に関する広報
県警ホームページ、音楽隊ロビーコンサートでの広報、交番速報など、様々な広報媒体を活用した遭難事故防止についての呼び掛け

等を行う。

期間中、遭難事故が発生した際、迅速・的確な救助を行うため、事前の実地訓練（第1回：4月8日～12日、第2回：4月15日～19日）により救助技能の向上を図る予定である。

旨の報告を受けた。

強制性交等事件の検挙について（刑事部）

刑事部長から、

静岡中央署における強盗・強制性交等事件について

○ 発生状況

日時：平成30年9月18日

場所：静岡市葵区地先路上

○ 被害者：A（10代・女性）

○ 被疑者：無職 B男（36歳）

○ 逮捕関係

平成31年4月2日、強盗・強制性交等で通常逮捕

○ 事件概要

被疑者は、被害者に性的暴行を加え、さらに現金等在中のリュックサック等を強取したもの

浜松東署における強制性交等致傷事件について

○ 発生状況

日時：平成30年12月7日

場所：浜松市東区地先敷地内

○ 被害者：C（10代・女性）

○ 被疑者：会社員 D男（33歳）

○ 逮捕関係

平成31年4月3日、強制性交等致傷で通常逮捕

○ 事件概要

被疑者は、被害者に性的暴行を加え、怪我を負わせたもの

である。

旨の報告を受けた。

「SUPER GT」第2戦レース会場における広報活動の実施について (交通部)

交通部長から、

実施概要は、「SUPER GT」第2戦レース会場において、交通部、警務部警務課採用チーム、御殿場警察署が連携して、警察車両の展示及び反射材着用促進等の広報活動を行うほか、決勝レースに先立ち、警察車両がGTマシンを先導してパレードラップを実施するものである。

- 実施日時：令和元年5月4日（土）午前10時5分から
- 実施場所：駿東郡小山町「富士スピードウェイ」ピット及びサーキットコース
- 体制（交通部長以下約30人体制）
 - ・交通部（交通企画課・交通機動隊・高速道路交通警察隊）
 - ・警務部（警務課採用チーム）
 - ・御殿場警察署
- 車両
 - ・交通機動隊 白バイ9台
 - ・高速道路交通警察隊 パトカー4台
- 活動内容
 - ・広報活動（場所：ピット前）
 - 警察車両の展示（白バイ1台・パトカー1台）
 - 反射材着用促進等の広報活動
 - 交通安全教育機器等を活用した参加・体験・実践型の交通安全教育
 - 警察官募集活動及び受験希望者による業務体験
 - ・パレードラップ（場所：サーキットコース）
 - 決勝レース前のパレードラップ時にGTマシンの先導（白バイ9台・パトカー4台）
 - ・業務体験
 - 静岡県警察インターンシップの一環として、参加学生が、警察車両の展示や反射材着用促進等の広報活動を通じ、業務体験を行う。

旨の報告を受けた。

2019年春の全国交通安全運動の実施について（交通部）

交通部長から、

実施概要は

- 実施期間
令和元年5月11日（土）から5月20日（月）までの10日間
- スローガン
安全を つなげて広げて 事故ゼロへ
- 運動の重点
 - ・ 子供と高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
 - ・ 自転車の安全利用の推進
 - ・ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
 - ・ 飲酒運転の根絶
 - ・ 各市町交通安全対策協議会等が決定した事項の推進

期間中の主要行事は

- 事前広報・街頭指導等の日：5月10日（金）
- 「通学路安全対策」強化の日：5月16日（木）
- 交通事故死ゼロを目指す日：5月20日（月）

安全運動出発式については、

- 実施日時・場所
令和元年5月10日（金）午前10時から（概ね30分）
静岡市葵区 静岡県庁本館玄関前
- 主な出席者
警察本部長、公安委員会委員長、交通部長、副知事、県くらし環境部長
静岡県交通安全協会会長、静岡県安全運転管理協会会長

期間中において、交通部幹部による各警察署への視察督励と、交通部5課による交差点活動及びパトカーによるレッドパトロールを実施する予定である。

旨の報告を受けた。

◇ 委員から、「複数のテレビ報道等において、高齢者が信号を無視するなどしてどこでも横断してしまう『乱横断』が大きな問題として取り上げられていた。今後、運動の重点に加えて取り組んでいく必要があると考える。」との意見があった。